



- 1 導入の本格季節到来！
- 2 **羅針盤** 努力の本質とは
- 4 躍進が考える木材と日本文化 ④
- 6 秋から冬こそスカイコートWの出番です！
- 8 経年変化を考える

導入の本格季節到来！ 浴室換気乾燥暖房機

もうすぐ冬がやってまいります。浴室換気乾燥暖房機の導入の本格季節到来です。躍進ではヒートショック対策用の浴室換気乾燥暖房機として、「壁面タイプ／浴室用／防水仕様」、「同／脱衣室・トイレ・小部屋用」、「同／換気扇内蔵タイプ」、「同／換気扇連動タイプ」、「天井取付タイプ」(写真参照)をご用意いたしました。



冬場の浴室の脱衣所やトイレ、廊下などで寒さにさらされると、血管の過度の収縮により血圧が急変動し、脈拍が早くなり、高齢者の場合、心疾患や脳障害などの事故につながることもあります。最悪の場合、急性心不全、心筋梗塞、くも膜下出血などによる突発的な死を引き起こします。

65歳以上の方は、たとえ健康に自信があったとしても、入浴時には注意が必要です。脱衣所と浴室の温度差が10℃以上にならないように注意しなくてはなりません。さらに、高血圧・糖尿病・動脈硬化のある方、肥満気味の方、睡眠時無呼吸症候群や不整脈がある方、お酒を飲んでから入浴する習慣のある方などはヒートショックに要注意です。

入浴前にその都度浴室をシャワーで暖めたり、脱衣所にファンヒーターを移動したりするのは、負担が大きいままです。浴室換気乾燥暖房機によって、安心・安全を確保してください。ご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽にご連絡ください。

努力の本質とは



努力は辛くて当たり前

努力は、ある目的のために力を尽くして励むことです(デジタル大辞泉より抜粋・要約)。それは営業成績で1番になりたい、高校野球で甲子園大会に出場したいなど様々です。

しかし努力は辛いものです。というよりも辛くて当たり前なのです。だから多くの人が努力をしないで言い訳を考えることにエネルギーを使ってしまうのでしょうか。

それでも世の中には、努力をしなくても済む人が2種類います。1人は既に目的を達成してしまっただけの人です。自己実現してもそれ以上自己超越したいと思わなければ努力する必要がないからです。

もう1人は飛び抜けた天才です。例えばインドの数学者シュリニヴァーサ・ラマヌジャン氏です。32歳の若さで亡くなってしまったのですが、その逸話で代表的なのは、留学先の英国ケンブリッジ大学で、毎日5、6個の定理を発見し、担当教授のゴドフリー・ハーディ氏に提出していたことです。

しかし、ラマヌジャン氏は証明という概念を持っていなかったため、ハーディ氏をはじめ周りの研究者がその定理を証明するのですが、すべて正しかったのです。そんな彼にハーディ氏は、「証明もしないのにどうしてそんなに定理を発見できるのだ」と尋ねたところ、ラマヌジャン氏は「寝ている間にナーマギリ女神が教えてくれた」と答えたといわれています。

ヒンドゥー教におけるナーマギリ女神とは、日本では吉祥天として知られるほどのポピュラーな神様です。それでも、神様が存在し勝手に数学の新しい定理を教えてくれるわけではありません。要するにラマヌジャン氏はサヴァン症候群で、努力しなくても成果をあげることができる天才だったのです。

このような、努力不要のケースは異例中の異例です。それに皮肉なことですが、天才と呼ばれている人ほど、誰よりも努力しています。メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手や、現役時代のイチロー選手は、まさに努力の塊のような人です。

努力には方法論がある

しかし一般的には、「努力しろ」と言われても、いったいどうやったらよいのか、それ自体が分からないと嘆く人が圧倒的に多いものです。確かに具体的な方法論はたくさんありますが、共通して言えることが1つだけあります。

これはコンピューターの仕組みによく似ています。まず頭を使うにしろ、体を使うにしろ、どうやったらよいかという知識や情報を「入力」しなければなりません。それには人の話を聞き、本を読むことで成り立ちます。そして得意・不得意の整理をしてください。

そして、得意なものであれば真っ先に飛びついて、できるところからチャレンジを開始しましょう。不得意なものは、それでも必要であれば一番後回しにして構いません。しかし不要と判断したら迷うことなく捨ててください。

次に入力した知識や情報を処理する「演算」ですが、一番早く結果を出せる方法は何かを常に念頭において、その選択肢の中からベストな方法を選び出すのです。まさに最新のCPUを搭載することにそっくりです。

最後は、確認の意味での「出力」です。正しく入力し正確に演算すれば、間違いのない答えが出力されます。それを検証し、そこに少しでも成長の跡があれば、この過程における努力は間違いなく成功したと言えます。

この入力、演算、出力のスパイラルを繰り返すことこそ、努力の本質なのです。

努力は正しく継続する

これまで私は、毎日投稿しているブログ『森羅万象から学ぶ人生羅針盤』において、努力をテーマに様々な角度で検証してきました。今回はその総括の意味も含めて、努力の本質に迫って見たのです。

前述のように、確かに「入力、演算、出力のスパイラルを繰り返すこと」が努力の本質ですが、それが一時的であったり、身を入れて努力する時であれば、ダラけて課題をこなしてしまう時もあったりするようなムラがあってはならないのです。

努力は正しく継続することに意義があり、そうしなければ努力の本質がもたらす効果を失うことにもなります。人間は弱い生き物ですが、それでも冒頭にあるように、努力は辛くて当たり前と認識し、その方法論を身に付けた時に不退転の決意をすれば、だれもが正しく継続でき、必ず大きな成果を得られることをお約束します。チャレンジしてください！

躍進が考える 木材と日本文化 ④



真の完成は 300 年後

法隆寺専属の宮大工・西岡常一(つねかず)氏は、数々の逸話や名言を残していますが、その中でも特に印象的なのが、「宮大工の仕事が完成するのは 300 年後」です。

一般の住宅は、言うまでもなく無災害竣工した時が完成です。ところが宮大工は、寺社仏閣を扱っているため、それを最低でも 300 年残すことを前提に仕事をしなければならないとしていました。

そのため、軒の出の垂木をわざと跳ね上げるのです。つまり遠目には、ちょっとだけ反った軒が出来上がったのですが、これが 300 年経つと丁度良い具合に垂れ下がって、良い収まりになるのです。

このように、神社仏閣の評価は 300 年後なのです。それを計算に入れ、それまでメンテナンスを十分に行い、真の完成まで保護しなければなりません。それを可能にできるのが、躍進の『Air 鉋』であり、木材保存技術なのです。

美感を保ち腐食・劣化を予防

一般的な木造住宅は、50 年をめどに建て替えるのが望ましいのですが、それでも床下点検などのきちんとしたメンテナンスが必要です(詳細は後述)。さらに神社仏閣となれば、外観の美しさをそのままに保つことも重要な要素です。

しかし躍進が誇る『Air 鉋』を用いることで、水を使わずに神社仏閣の美しさを取り戻すことができるのです。これは、空気と植物性粉体を対象物に噴射し汚れや劣化層、古くなった既存の塗膜を数マイクロ単位で削り取るなどを施し、美観の再生や木材の長寿命化を目的として開発された乾式工法です(特許第 6206898 号)。

植物性粉体の種類や圧力を変化させることで「払う」「削る」「剥ぐ」「粗す」の4役を、対従来工法の60分の1の時間(実績)で、1台で行うことができます。

「払う」は、垢や汚れを刷毛のように優しく払うことができます。強弱は無段階に調整ができるため、繊細さを要する彫刻や重要文化財にも採用されています。「削る」は、木材の表面を数ミクロンから数センチまで削ることができます。劣化層やカビ・木材腐朽菌の除去、浮造り加工などの意匠性に対応できます。

「剥ぐ」は、基材を痛めることなく既存の劣化塗膜を剥離できます。複雑な形状でも短時間できれいに剥離が可能です。「粗す」は、水性塗料による塗装の付着強度を高めるための、木材の表面を粗すなどの下地処理(足付け作業)が行えます。

詳細は、躍進のホームページをご覧ください (https://yakushin.jp/air_kanna/)。そこには、常若施工の発想による木造建築物の維持管理の基本が示されています。

美感確保に限らず腐食や劣化など、様々な木材建築物の悩みを解決することにより、将来の大きな出費を回避でき資金計画が楽になります。また的確な予防方法を知ることにより、無用の出費が無くなります。シロアリ対策においても、半永久的に効果を持続し、赤ちゃんにも安全なものを使用していますので、経済面だけでなく健康面でも安心です。

木材保存の基本は床下点検から

木材保存の基本は床下点検からで、その目的はシロアリと腐朽菌の駆除に他なりません。これまでに何度もその危険性と予防措置をご案内してきました。

シロアリの種類は、世界中に2,900種類といわれていますが、その中でも日本において建築物を加害する代表的な種類はヤマトシロアリとイエシロアリです。また、最近“乾材シロアリ”の仲間であるアメリカカンザイシロアリの被害も増えています。

さらに、床下点検に加えて壁体内への雨水侵入を防ぐクラック補修もお薦めしています。雨水をそのままにしておけばシロアリや腐朽菌が発生します。特に腐朽菌は、木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して多孔質に変化させ強度を下げます。

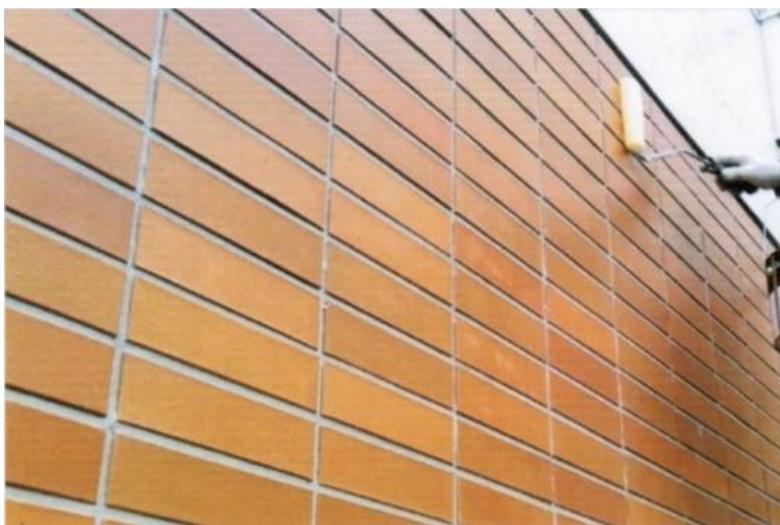
これにはコーキング剤を奥まできちんと行き渡らせます。複雑なクラックの場合は外壁に溝を作ってクラックを埋める処理方法も用い再発しないようにいたしております。

このような具体的工法を様々に駆使し、日本の木材文化を守る一翼を担っております。もし何か気になることがあれば躍進にご連絡ください。ご連絡をお待ちしております！

秋から冬こそスカイコートWの出番です！ 水系ウレタン樹脂**タイル仕上げの魅力を生かす**

強靱で柔軟な被膜を形成するタイル張り面の透明外壁防水材『スカイコートW』は、もうすっかりおなじみになり、ご注文、問い合わせが多く寄せられています。

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした、1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに、雨水の侵入を防ぐことができます。

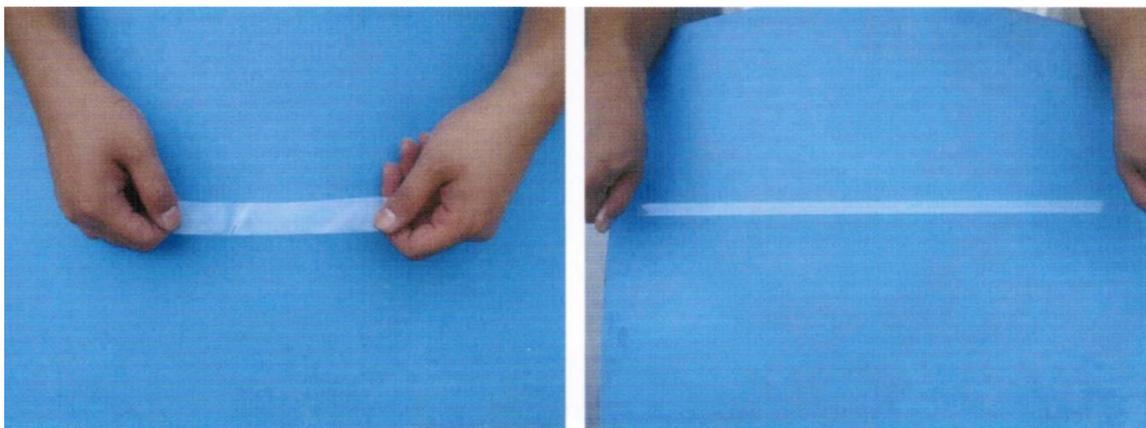
**オール水系**

プライマーを含め、すべての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため、引火や中毒の危険がなく、居住者・作業員・環境にやさしい材料といえます。

抜群の高性能被膜

ウレタン樹脂の特性を生かし、強靱で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性(20mm以上)、抗張積(2670N/mm)を備えています(写真参照)。

また、専用プライマーにより、磁器タイルのような吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。



優れた施工性

すべての構成材料は、1液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性により、フラットな仕上がりになります。

防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

施工仕様

工程	使用材料	塗布量(kg/m ²)	塗布回数	塗布間隔(目安)	塗装方法	
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1~0.2	1	春秋 約2時間 夏 約2時間 冬 約3時間	ローラー
2	防水層①	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
3	防水層②	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
4	トップコート	スカイコートWトップ	0.1~0.2	1~2	—	刷毛、ローラー

高い防水性に加えて、意匠性の確保や、施工性の高さなど、各方面で多大な評価をいただいております。そして、秋から冬こそ『スカイコートW』の出番なのです！

『スカイコートW』のご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

経年変化を考える 住宅コラム

新築住宅が最も高い性能を確保しているのは、言うまでもなく竣工時です。その瞬間から体で感じるができない時間感覚で、ほんの少しずつではありますが、住まいの経年劣化が始まります。

茨城県つくば市にある防災科学技術研究所で開催される実物大住宅の耐震実験に用いられている住宅は、言うまでもなく新築住宅です。しかし、その実験に用いた同じ仕様の住宅で、10年後、20年後のものを装置に移築し、同じ実験を行ったらどうでしょうか。

その間、一切の修繕やメンテナンスをしていないものであれば、結果はまったく違うものになっていると思われれます。しかしこれは当たり前のことであり、それを最小限に防ぐのが、躍進が実施している点検業務、メンテナンス業務です。

特に通気性確保は重要で、床下や壁体内に湿気が溜まり、それがシロアリや腐朽菌を発生させる最大の原因となっているのです。

また、断熱性能も劣化します。断熱材の種類にもよりますが、経年劣化でへたりや収縮が発生すると、新築時の性能は確保できません。それでもメンテナンスに消極的なお施主様が多いのは、費用が意外にかかるためです。

屋根もまた、その種類によりますが、軽くて錆に強いガルバリウム鋼板でも、端や峰の取り合いの部分から、徐々に劣化が発生するようになっていきます。

耐震性能も、梁受け金物やホールダウン金物と接触する木部が痩せ、その間に生じる隙間がぐらつきの原因となり、耐震性を低下させるのです。

外壁も汚れが目立つようになります。光触媒などを応用した防汚機能に優れた外壁塗装を施していても、一切メンテナンスをしていなければ、やはり経年劣化は避けられません。

このように住宅は経年劣化して当たり前なのです。しかしその劣化を少しでも軽減させ、新築時の性能に限りなく近いものに保つのが、定期的な住宅点検でありメンテナンスです。お住まいで気になることがあれば迷わず躍進にご連絡ください。お待ちしております。

<p>株式会社</p> <h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">躍進</h1>	<p>関連会社 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>不動産事業</p>	<p style="text-align: center;">事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断</p>
<p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	